

国际情报部

新潟国際情報大学広報 第17号

〒950-2292 新潟市みすき野3丁目1番1号 tel 025-239-3111 fax 025-239-3690 E-mail somu@nus.ac.jp URL <http://www.nus.ac.jp>

カナダ・アメリカへの留学

情報システム学科3年 小出 つかさ
（左）参加したメンバーに会

情報システム学科3年 小出 つかさ
「力ナダに戻りたい!」今回の力ナダ研修に参加したメンバーに会
うたび、必ず出てくるのがこのセリフです。5週間の研修を経て、約
3ヶ月が立ちますが、今でも力ナダで過ごした楽しい日々の事をよく
思い出します。

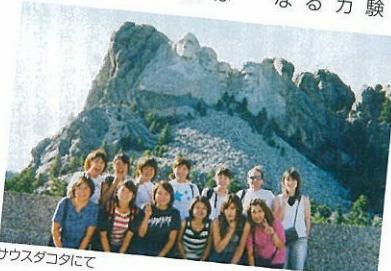


Faculty Social(パーティー)会場のホテル前に

今回の初めての露 チャンスになりました

ノースウエスト・ミズ

今年も恒例の夏季のカナダとアメリカへの短期留学を無事終了しました。カナダのアルバータ大学では、情報システム学学科生を中心に7名が8月4日から9月8日まで、アメリカのノースウェスト・ミズーリ州立大学では、13名の情報文化学科学生が8月16日から9月20日までの日程で行つて来ました。



サウスダコタにて

留学・学・便・り

2002年度派遣留学現地報告

今年も、情報文化学科の2年生が、後期にロシアの極東国立総合大学と中国の北京師範大学と韓国の慶熙大学に留学しています。それぞれ、11月末時点で生き生きとした現地報告を送ってくれました。

情報文化学科2年 富山 宏美

情報文化学科2年 鶴木 裕美

情報文化学科2年 神丸 晴好

派遣留学便り
慶熙大学
韓国

派遣留学便り
北京師範大学
中国

派遣留学便り
極東国立総合大学
ロシア



韓国へ留学に来てから1ヶ月が過ぎた。最初の頃は言葉や生活習慣の違いで、大変だと思つこともたくさんあった。言葉の面では、普通の食堂で注文することですりペディキドキしていった。しかし、授業や韓国人の友人と話していく中で、次第に相手の言つてることが理解できるようになり、それについて韓国生活も楽しくなつていった。語学の授業は「授業」という感じがしない。みんな早く語学を身につけた韓国生活をより充実したものにしたいと思つてるので、自然に授業にも身が入り、積極的に学びます。そりやでいくうちに少しずつ聞き取れるようになり、片言でもしゃべれるようになつた。

韓国語がわかるようになることは、韓国人と話せるだけではなく、韓国で韓国語を勉強している外国人とも話せるようになることを意味する。私たちのクラスは日本人だけではなく、中国、ロシアなど様々な国から来ている留学生がいる。彼らとの共通語は韓国語だ。韓国語がわかるようになり、自ずとそれぞれの国の人文化や価値観を学ぶことができる。これは自分の様々な考え方を見直し、磨きあげるうえで良い機会となつた。

留学生活も残り1ヶ月を切つた。引き続き韓国語を勉強しながら多くの場所へ出かけ、いろんな人と触れ合つて、韓国の歴史、文化を感じ、より深く学んでいきたい。

私が中国に来たのは、語学力の向上と異文化体験をしてみたいという理由からでした。私は週に一度中国人の友達と交流をしているのですが、授業で習つばかりの言葉が頻繁に会話に出てくるので、生きた言葉を習得していることを感じます。私たちは日本人同士でも極力、中国語を話すようにしているのですが、会話することにより習ったことが生かされて語学力が向上するのではないかと思います。

そして、何よりも私たちは自分たちでどうにかして中国で生きいかなければなりません。買い物でも中国は物価が安いこともひとつ魅力なのですが、値段交渉をしてより安く買う事ができます。そのためには、ある程度の言葉が必要になりますが、その値段交渉がとても楽しいので、自然と市場会話が身につきます。私は中国に来てこの迫り詰められた環境が語学力を向上させていくと思いました。

また、私たちは土日にすれば、バスや地下鉄やタクシーに乗つて北京中を駆け巡り買い物や観光を楽しんでいるのですが、最初中国に来たときは自転車と人の多さにびっくりしました。文化や生活の違いを肌に触れ、驚きと発見がある新鮮な毎日を送っています。このような体験は生に一度あるかないかの体験ですし、世界観が広がり精神的にも大きく成長できたと思つて、中国に来て本当に良かったと日々感じています。

そしてこのような留学制度を設けてくれた大学と行かせてくれた両親に感謝でいっぱいです。将来私は、中国にかわる職業に就きたいと考えていたので、日本に帰つてからも努力していきたいと思います。

派遣留学便り
慶熙大学
韓国

派遣留学便り
北京師範大学
中国

派遣留学便り
極東国立総合大学
ロシア



情報文化学科2年 田沢 謙子

情報文化学科2年 上林 幸惠

私のロシア観は、ほとんどアバウトである。ロシア人は人と会う約束や授業にちゃんと時間通りには行かないのだ。日本だと5分前行動などと言われたことがあるが、必ずと言つていいほど、ちゃんととした時間に来ない。いい意味で言つて、ロシア人は時間を気にしない。どうしてか、ロシア人はほとんど適当だということだ。最初の頃は日本と何もかも違つて慣れるまでに時間がかかる。日本人には大変だった。日本人にははじみに「いかもしれない」と思った。

2003年度 留学スケジュール（予定）

12月	参加仮申込み（アメリカ）
1月	参加学生最終決定（アメリカ）
4月	参加仮申込み（ロシア・中国・韓国） 履習登録時参加申込み/事前研修開始（カナダ） 事前研修開始（アメリカ）
5月	参加学生最終決定/事前研修開始（ロシア・中国・韓国）
6月	参加費の支払いと誓約書の提出
7月	歓送会（奨学金授与式）
8・9月	留学開始

※詳細については、学務課まで。



「派遣留学制度」を利用して
平成13年度卒 林 祐輔

1999年9月から2000年1月まで、私は新潟国際情報大学として初の「派遣留学制度」を利用し、北京師範大学へ留学した。留学生活では、語学はもちろんのこと、中国の文化、歴史を実際に体験することにより、日本で見ることの出来ない中国に接することができた。留学後、中国に大変興味を持つようになり、仕事も中国と関係のある仕事を希望し、中国と関係のある企業を中心に就職活動を行つた。そして私は、新潟にある明和工業で海外事業担当として働いている。当社は水管橋・仮設配管・不凍急速型空気弁・緊急用浮水槽等の水に関する商品を取り扱つておらず、私の所属する海外事業担当は、当社で使う部材や商品を中国から輸入する業務である。10月には初めての上海出張に行つたが、力不足により仕事としては満足できることは出来なかつたが、同年代の中国人とも接し、彼らはしっかりとした自分の意見・考えを持つておる。こうしたしっかりとした若い世代が最近著しい中国発展の原動力の一つになつてゐるのではないかと感じた。出張後は、改めて痛感した自分自身に足りないものを鍛える為毎日勉強し、中国でビジネスをするにあたり必要な知識を学んでいく。現在は貢献できることはまだ少ないが、自分の希望した職業に就けたことで、今後も努力していくと思う。

派遣留学制度を利用した事に、自分は自分のやりたい事を見つける事が出来た。これからこの制度の利用を考えている学生には是非利用してもらいたい。それにより今まで発見できなかつた事を発見していただきたい。

卒業研究

情報文化学科卒業研究中間報告会

情報文化学科3年 松田 潤

11月の日に鳥合会を開催しました。鳥合会とは情報文化学科4年生による卒業研究の中間発表会です。鳥合会は学生が中心となり、鳥合というマイナサイメジの強い言葉を逆手に取つて「規律のない自由な発表会」を作り上げました。

本学では両学科とも問題発見・解決の能力を養うことを目的として、卒業研究を課しています。

情報文化学科では、多様な授業科目からなる学際的カリキュラムの中で、自分が特に何を学びとったのか、論文としてまとめる重要な科目です。ゼミでの卒業論文の作成の過程で自分の課題を明確にしつつ、自分の研究成果の専門性を高めます。

情報システム学科では、それまでに修得した知識をもとに、情報システムの計画・設計・開発・運用及び情報資源／情報技術の活用をめぐる問題をじらえ、それに対する解決策を提案し、その効果について論じます。

ただし、両学科とも3年生終了時に決められた科目の中から100単位以上修得しているないと卒業論文に着手することができます。尚、本学のホームページの卒業論文データベースでは抄録の検索が可能です。本文の閲覧をご希望の場合は学内情報閲覧室でご覧下さい。

情報文化学科では、11月に中間報告会を開催いたしました。これは3年生が企画と実行により、教員も全員参加して行われました。その実行委員長を務めた松田さんより当日の様子を紹介いただきました。尚、情報システム学科は、卒業論文の発表会を2月に予定しています。



学事日程 (2003)

1月	6日	授業開始
	20日	後期授業終了
	21~27日	後期定期試験
	18、19日	センター試験(本学会場)
2月	3日	前期入学試験
3月	10日	後期入学試験
	15日~	春期休業
	20日	卒業式
	31日	学年終了

本年度卒業式

■開式/平成15年3月20日(木)午後1時~
■会場/新潟市芸術文化会館



日本技術者教育認定制度について

情報システム学科長 竹並 輝之

日本技術者教育認定制度は、高度教育機関において技術者の基礎教育を行なつて「プログラムを認定する制度であり、その認定団体が日本技術者認定機構(JABEE)です。

「制度の目的は、認定基準を満たしていると認定された技術者教育プログラムを公表することで、認定されたプログラムの修了生が、将来技術職等につくために必要な教育を受けていることを社会に知らせることです。従つて、JABEEによる審査は、教育プログラム(学科や「一般」の内容や質を保証するためのもので、大学の提示する教育目標が、JABEEの要求する教育成果を含み、国際的な同等性を満たしているかどうかがチェックされます。」

対象領域は、現時点で12の工学分野であり、情報系も含まれる。Information System領域では、今年度から試行審査が始まり、情報処理学会より本学と若大で行われた単位互換制度は学生間の交流促進や経済学部の四校による単位互換制度の調印式が11月29日新大で行われた。単位互換制度は学生間の交流促進や教育の充実を目的に実施。本学の櫻木公一情報文化学部長は「学生の選択の幅を広げ、勉学のチャンスを増やせる。しっかり活用してほしい」と語った。なお、新潟大学人文学部等との単位互換は平成十四年から始まっています。

制度

手島立大学に協力依頼があり、試行審査を受けた。審査は、JABEEに委託された機関(情報系は情報処理学会と電子情報通信学会が中心)に設けられた審査委員会の審査チームが、自己点検書(JABEEの指定様式)と実地訪問により行われました。将来認定されたプログラムの修了生卒業生の中でJABEEの評価基準を満たしているものには認定書を交付し、技術士資格一次試験免除の優遇措置が与えられるものです。

日本技術者教育認定機構による試行審査」が実施

(JABEE)

ゼミ訪問

情報文化学科3・4年 佐々木 寛ゼミ



ご希望の方は、下記方法にて
お申し込み下さい。

本の代金 一冊500円(税込み)

送料 一冊210円
二冊310円

氏名、住所、電話番号を記入の上、
代金を受取人を指定しない郵便普通
通為替にかえて、下記の住所までお
送りください。

〒950-2292
新潟市みずき野3丁目1番1号
新潟国際情報大学

安達 巧 研究室

制作中はとても大変でしたが、その中で多くのことを
得ました。今では満足感でいっぱいです。

佐々木(寛)ゼミでは、最終的に卒業論文の作成を目指す
すべて個々のテーマに応じて多種多様なアシストを読みこ
んでいくのはもちろんのこと、必要に応じて調査旅行やフ
ィールド・ワークも行ないます。そしてその一環として、毎
年海外に、「平和研修旅行」に出かけます。いわゆる「従軍
慰安婦」のハルモ(おばあさん)たちが共同生活をしてい
る韓国の「ナスマの家」へ訪れるのは今年で3年目になります。
かつて日本人がアジアの人々に与えてしまった傷跡
から目をそむけことなく、むしろその歴史的な経験や事
実から出発することで新しい時代の国際的な共生のあり
方を考えるためです。もちろん事前に学習してからいくわ
けですが、勉強をすればするほど歴史的な事実を知れば
知るほど、ハルモたちに会うのが心苦しくなります。そ
れで毎回ずいぶん緊張しながら訪れるわけですが、ハルモ
(たちはいつもわれわれを大らかにあたたかく歓待してく
ださるので、はじめは驚き、次に必ず深い感動を経験する
ことになります。ハルモたちの肉声を通じて、彼女たち
が本当に憎んでいるものは何か、本当に大切にし愛してい
るものは何かを知ることで、それまでの薄べらな世界観
や人間観が吹き飛んでしまいます。「国際理解」とは何か、
本当の「歴史認識」とは何か、頭でうかうかの理屈ばかりでは
分からぬことが、実際に訪れてからだ全体で経験するこ
とによう、見えてくることもあります。

和田 葉子

原稿の作成から、販売まで全
てが良い経験となりました。

小林 香代

学生活の中で形になって残る
ものを友人といつしょに作れ
たことが良かったです。

山口 理恵

本の制作、販売等いろいろな苦労がありましたが、その分、
私自身の勉強になつたこともたくさんあります。とても
良い経験となりました。



ロシア史概説

10月7日(月) 【極東から見るロシア史】
講 師: 極東国立総合大学 東洋大学 日本学部長 アレクサンドル・シュヌイルコ氏

特別講義

環日本海論

10月9日(水) 【ロシア極東の現状】
講 師: 極東国立総合大学 東洋大学 日本学部長 アレクサンドル・シュヌイルコ氏

中国史概説

11月21日(木) 【日中関係の回顧と展望】
講 師: 北京師範大学歴史学教授 楊寧一氏

情報システム特論

第1回 10月12日(土) 【IT政策】

テーマ: 新潟県の情報政策
講 師: 新潟県総合政策部情報政策課長 中野雅至氏

第2回 10月26日(土) 【IT技術】

テーマ: ブロードバンド&モバイル最新動向とシステムサプライヤの事業戦略
講 師: 日本電気(株)ニューITエバンジェリスト 林 雄代氏

第3回 11月9日(土) 【ITインパクト分野(1)】

テーマ: e-ラーニングの最新動向
講 師: ウィルソン・ラーニングワールドワイド(株)取締役 三浦邦夫氏

第4回 11月16日(土) 【ITインパクト分野(2)】

テーマ: EC(電子商取引)の動向と県内事例
講 師: 新潟県商工会連合会指導部情報課長代理 辻川正敏氏

第5回 11月30日(土) 【ITサービス産業と人材】

テーマ: ITサービス市場動向と期待する技術者像
講 師: NECソフト(株)執行役員常務 新潟支社長 宮崎 効氏

日本経済超入門

本学学生が
を自費出版



本学の学生四人が日本経済のキーワードを解説した「私にも楽しくわかる!日本経済超入門」をこのほど出版した。出版したのは情熱システム学科3年で安達ゼミの4人。同書は「バブルの崩壊」「金融機関破たん」「失業率」など七章構成となっている。

◆著者のコメント◆

石田 貴志

原稿の作成から、販売まで全

てが良い経験となりました。

小林 香代

学生活の中で形になって残る

ものを友人といつしょに作れ

たことが良かったです。

和田 葉子

二たちはいつもわれわれを大らかにあたたかく歓待してくれ
ださるので、はじめは驚き、次に必ず深い感動を経験する

ことになります。ハルモたちの肉声を通じて、彼女たち

が本当に憎んでいるものは何か、本当に大切にし愛してい

るものは何かを知ることで、それまでの薄べらな世界観

や人間観が吹き飛んでしまいます。「国際理解」とは何か、

本当の「歴史認識」とは何か、頭でうかうかの理屈ばかりでは

分からぬことが、実際に訪れてからだ全体で経験するこ

とによう、見えてくることもあります。

私たち宗澤ゼミ(のうざわゼミ)は、11月8、9日の二日間、新潟市産業振興センターで行われた新潟ビジネスメッセに参加しました。ビジネスメッセとは、中小企業の活性化を目的に開かれたイベントで、毎年新潟県を中心とした国からさまざまな企業が参加しています。今回はOPEN NUOVAというサーバーに入れてある二条・燕の企業のホームページをV-i-sual Basicを使って分野別に検索できるシステムを構築し、閲覧できるようにしました。最終的な目標は、そこから新しいビジネスを生み出し、新潟の中小企業を活性化させるというのですが、初参加の今年はデータベースの紹介までに留まりました。イベント当日は、あまりパソコンに触れたことのない方、中小企業を経営している方、システムをつくるプロの方など、多くの方々にシステムに触れていたいことができました。実際に使う立場の人から意見や要望を聞き、多くの課題を発見することができました。また、そうしたシステムを望んでいる方は多く、完成すれば新潟の活性化に大きく貢献できるという手ごたえや、期待も感じられました。今回は準備不足ということもあり十分に満足できるものではありませんでしたが、この成果は卒業研究に活かそうと思います。また今回参加した3年生が興味を持つて引き継ぐので、より良いシステムの完成を来年に期待したいと思います。

新潟ビジネスメッセ

◆出展◆

タイでの在外研究

情報文化学科 助教授 高橋 正樹



Masaki Takahashi

わたしは2001年の夏から一年間、教員の研究活動を支援するための本学の「海外研修制度」によって、タイのバンコクに滞在して研究に専念する機会を得ました。わたしのような外国研究をしている者にとって、日本を離れて長期間、外国に滞在しながら研究に専念できることは大変ありがたかったです。

宗澤拓郎教授 日米i-ビジネスセミナー開催

宗澤教授は、8月28、29日の両日、ホテルオーラ新潟で米国のミシシッピー州立大学のJ. P. シム教授との共同主催で「日米i-ビジネスセミナー」を開催しました。これは日本学術振興会と米国のナショナル・サイエンス・ファンデーションの助成を受け、インターネットや携帯電話を活用した電子取引きに関するものでした。

北極圏調査

情報文化学科 助教授 澤口 晋



Shinichi Sawaguchi

そもそも国土が北方に偏るカナダの中でも最も北に位置する島、それがエルズニア島である。北極点もそう遠くはない。島の面積(1,066,236 km²)は日本の本州よりも回り小さいか、その割合は厚い氷河に覆われ、残りの土地もツンドラあるいは極地砂漠と呼ばれる凍てついた大地によって占められる。私は、日本の国立極地研究所とカナダのトロント大学との共同研究(「北極域環境変動の研究」、特定研究B、研究代表者/神田齊史)のメンバーの一員として昨夏と今夏、約1ヶ月ずつこの島での現地調査に参加した。

カナダ北極圏「エルズニア島」、「ご存知ですか?」

それにしても、こんな所でいつたじ何を調べるのか?

先ほど凍てついた大地と書いたが、それでも夏には地表から数10 cmほどの深さまで凍土は融解する。そしてそこには、なぜかここに? としか思えないような可憐な極地植物が花を競う。その美しさはとうてい言葉にならないが、実は、この植物たちこそがこの研究の主役の一つなのである。

近年、地球温暖化が大きな問題となつてほしいことは周知の通りである。この温暖化に最も敏感に反応するのは極地や高山であると考えられている。事実、極北地域の氷河の多くは急速に後退しつつある。私に与えられた

何を調べるか? それは氷河と株の花と植物そして地球環境興味は尽きない。



北緯82°に咲く花 Arctic poppy (ケシのなかま)

課題はこの氷河の後退過程を平面的・時間的に明らかにすることであるが、氷河の後退と運動して生物の生態系にも様々な変動の兆しが現れつつある。この変動を確実に捉えるためには、長期にわたる現地での様々なモニタリングが必要となる。その指標として重要な役割を担うのが先ほど

の極地植物たちなのである。そしてその動態が極地さらには地球全体の生態系変動のメカニズムを解明かす鍵ともなる。

教員の研究活動

2002年4月～12月までの出版及び学会報告

出

版

安達 巧 助教授
「企業倫理と「Eポレートガバナンス—知的資産の有効活用—」」創成社 2002年9月、単著。安達巧監修「私も樂しく分かる—日本經濟超入門」
安達巧研究室、2002年10月

アレクサンデル・ブースル教授
「明治時代の教育研究(シニア語)」ダリナウカ(ロシア)、
2002年9月、単著。

安藤 潤 講師
「一革命時代の経済と政府」文眞堂、2002年9月、
共著。佐々木 寛 講師
「現代市民政治論」世紀書房、2002年12月、共著。
「モモクリンシーと世界秩序—地球市民の政治学」コトブキ
出版、2002年12月、共著。熊谷 卓 講師
「ファンダンメンタル法学講座・国際法」不磨書房、
2002年4月、共著。佐々木 寛 講師
「現代市民政治論」世紀書房、2002年12月、共著。
「モモクリンシーと世界秩序—地球市民の政治学」コトブキ
出版、2002年12月、共著。

39 「広告としてのウエブサイトとインターネット性—企業ウェブサイトの現状と問題点—」日本広告学会第33回全国大会、2002年10月20日、独協大学。

40 原口 武彦教授
「アフリカの部族とEthnicity論」日本アフリカ学会第39回学術大会、2002年5月29日、東北大。

41 「アフリカの部族とEthnicity論」日本アフリカ学会第39回学術大会、2002年5月29日、東北大。

42 藤瀬 武彦教授
「歩行トレーニング時の高酸素吸入が皮膚脂肪厚及び体周囲に及ぼす効果」新潟県体育学会平成14年度大会、2002年10月26日、新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター。

43 宗澤 拓郎教授
「The R&D Strategy of Excellent Electronic



去る10月19日(土)、20日(日)の両日において紅翔祭が開催されました。

学園祭「メインイベント」

●キャンバスミーティング＝テーマ「10周年を迎えて」のもと、学長と学生代表4人による討論が行なわれました。本学の将来像について真剣に話し合いました。ライブ＝本学開校以来本格的なライブイベントが体育馆でおこなわれました。ガガガS.P.の演奏に650名を超える顧客が熱狂しました。

●文化講演会＝演題「人生のいろは」、
講師 大沢啓二氏、聴衆人数360名

紅翔祭を終えて――

実行委員会 渡辺 隼

平成14年度紅翔祭も皆様のご協力のおかげで無事に終えることができました。

今年の紅翔祭はいかがだったでしょうか。今年は「例年以上に紅翔祭を盛り上げよう!」の合言葉の下、新人らしく良くも悪くも色々と新しい企画を立ち上げました。サークルの模擬店を従来の中庭から学生玄関前へしたことによって、これまでより層お祭りらしい雰囲気を出すことができたのではないかと思います。学長にもご出席いただいたキャンバスミーティングは好評を博し、父母会同窓会の皆様主催の大沢啓二氏の講演会では360人の来客があり、大盛況のうちに幕を閉じました。また本学初の試みとなつた、ガガガS.P.によるライブイベントも650人もの来客があり大きな混乱や怪我人を出すこともなく無事に終えることができました。

最後に、紅翔祭を終え、紅翔祭実行委員会・学友会を代表して、悪天候のなかご来場いただいた多くの方々をはじめ職員など、自分にとって大きなプラスになりました。

最後に、紅翔祭を終え、紅翔祭実行委員会・学友会を代表して、悪天候のなかご来場いただいた多くの方々をはじめ職員など、自分にとって大きなプラスになりました。



■課外活動結果報告

日付	団体名	大会名	開催場所	大会結果
8月 7日	バドミントン	第47回北信越学生バドミントン選手権大会	福井	岡シングル3位、岡・西須ダブルス準優勝
10月12日	ESS	オラトリカルスピーチコンテスト	富山	スピーチコンテスト小幡征史3位
10月20日	バドミントン	第50回田村杯争奪兼第15回市嶋杯争奪バドミントン選手権大会	上越市	岡・西須ペアベスト4 岡・西須シングルベスト4
10月26日	陸上競技	第86回日本陸上競技選手権リレー大会	神奈川	全国大会400Mリレー(梅津、小林、石川、武田)
11月 7日	バドミントン	第47回北信越大学バドミントン選手権大会	富山	男子2部2位。女子団体1部2位

この奨学金は、大学が資格取得を奨励するために昨年度から設けた奨学金です。大学が指定した各種資格検定資格に合格した者に、申請に基づき表彰のうえ奨学金を給付するものです。昨年はI種(5万円)1名、II種(2万円)47名に奨学金が給付されました。学生のみなさんが各種資格検定試験に積極的に挑戦し合格して、自信を付けるとともに、就職活動をはじめ各人のこれから的人生に活かして欲しいと思います。
(今年度の表彰式は1月15日に行われます。)

資格取得奨励奨学金

就職活動

企業懇談会

今年も11月6日(水)ホテル新潟に於いて、恒例の「企業懇談会」が開催され、県内外から230名の方々の参加をいただき大変盛会となりました。

この懇談会は、学生の就職活動支援の一環として企業の代表者や人事担当

「3年次生の就職活動」がスタート

3年次生の就職活動が年を明けると本格的にスタートします。

既に「年間10回のガイダンスのうち10回を終しました。」との間で「就職に対する考え方」「就職活動体験談」「企業が求める学生像」「自己分析の方法」等々を行ない、学生にとって就職が「ある程度眞実的になってきた」とい思います。1月からは、個別面談・模擬面接・学内合同企業説明会、そして、新年度にはよいよ就職活動の本番を迎えます。

就職指導委員をはじめ、教職員が一体となって学生のサポートをして参りますが、最も重要なことは学生一人の最後まで戦い抜く強い気持ちです。そこで、就職を決めるための、いくつかの要点を記します。

(1) 自分の適性、希望を明確にする(自己分析)

(2) 業界研究、企業研究をする(エントリー、資料請求等)をしっかりとす

(3) 社会人としてのセラフ、マナー、エチケット等を日頃から徹底する(面接練習)

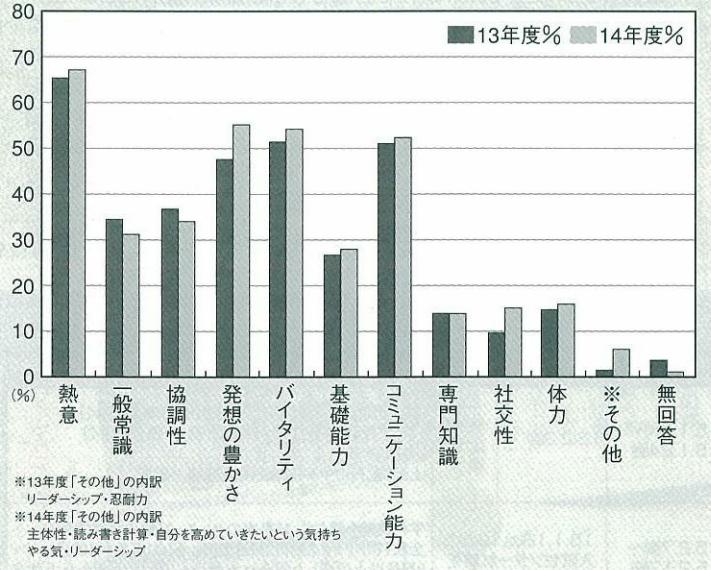
(4) 自己PR等の実践(就職課でも模擬面接指導をしています)

(5) 簡単に就職が決まらないのは当たり前。原因を考え、次に生かす。
最後まであきらめず粘り強く活動する

(6) 早め早めに就職に相談する(?)こと



■企業懇談会アンケート 大学生に求める資質(複数回答あり)



※13年度「その他」の内訳
リーダーシップ・忍耐力
※14年度「その他」の内訳
主体性・読み書き計算・自分で高めていきたいという気持
やる気・リーダーシップ

私は3年次の秋頃から就職活動を始めた。最初は就職を希望する企業などに資料請求を行い、それと平行して、筆記試験の勉強をしていました。希望する職種が営業職で車を扱う仕事がしたいと考えていたので、自動車のディーラーへの就職を望んでいました。

就職活動を始めた頃は「そんなに苦労しないで内容が覚えるのがいい」とたかがくへていましたが、5月下旬頃から周りの友人たが次々と内定を企業から貰っていく中、自分が内定をつぶすも貰いしない状況がかなりの落胆を感じさせています。焦ってばかりで結果が出ない悪循環を打ち切るために、もう一度自分自身を奮起させてからを真摯に考え、気持ちを切り替えて就職活動をしました。その結果がどうかは判りませんが、私は「社の企業の採用試験を受け、幸いその中の1社の企業からの内定を頂くことができました。

最後に私が就職に対する想いですが、企業研究や自己分析を行うのは当然ですが、採用試験を受けた結果が正解でないとしても、最後まで諦めないうが大切だと思います。そして就職活動をするにあたって、過当にやる気があれば内定をもらおうという安易な考えは捨てて下さい。それほど就職活動は厳しくなると思います。

就職活動を始めるにあたって、まずしなければならないのは「自分が何をしたいのか」という目的意識を持つことだと思います。でも、正確な目的をすぐに持つのは迷走してしまう。私自身も迷った。「自分は何かしたいのか?」、自分が会社に求める条件はなんだろう? ないし考えないのが多かったです。そこで、分からなくなったら、まずはとにかく様々な分野のいろいろな会社を訪問してみるとよいです。また、書店、教育出版、印刷、情報紙業界など、同業説明会やインターネット検索などで、少しでも興味がある会社には積極的に訪問しました。そのなかには、人事担当の人や他大学の学生との出会いがあります。多くの人と触れるとともに、「自分の位置」についての見えてくることがあります。私は初め、マスコミ関係の仕事をしたいと漠然と思っていたのですが、自分がやりたいと自分で決めてから、自分の仕事は「出版・印刷業の仕事をやりたい」と決めてからでした。直接的に触れた私は、やはり興味を持たなかったのですが、つまづく質問に答えるのが好きでした。結果、5社の会社から内定をもらいました。このように「積極的に」元気に就職活動をしければ、絶対に内定が取れます!「若さ」を大切に就職活動を頑張つたさす。

心が変われば人格が変わる。
行動が変われば習慣が変わる。
環境が変われば習慣が変わる。
人生が変われば運命が変わる。
就職に関しての意識が変われば最終的に自己の人生、運命が目撃と変わってくると思います。他人のためでなく、自分のことなのですから最後までがんばってください。

情報文化学科4年 川上大輔

就職活動を終えて

